



# 臨床ストレス応答学会

The Biomedical Society for Stress Response

## BSSR NEWS LETTER No. 9

2014.8.5

### 第9回臨床ストレス応答学会大会のご案内

#### ご挨拶と大会参加のお願い

会員の皆様に於かれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、第9回臨床ストレス応答学会大会を岡山市で開催する光栄に預かりました。また伊藤英晃学会長より後任を仰せつかり、その重責を痛感しつつあるところでございます。諸先輩の先生がこれまでに築き上げてこられた本学会をこれからも何とか発展させるべく尽力する所存でございますので何卒よろしくお願いいたします。

本邦の基礎系学会はいずれも会員数、演題数ともに減少傾向にあるのは周知の事実です。その原因は多々あると思われませんが、一つには高度専門化と細分化に偏ってしまったことがあるように感じます。

「生命とは何か」という問いに対しては引き続き基礎研究の高みを目指し、同時に再生医学の隆盛が物語る様に **Human health** をもたらしてくれる領域に大きく踏み込んだ「応用科学の知」が求められているのかも知れません。この点に鑑み本大会では、ポスターにありますように臨床応用をも意識したものにすべく準備して参りました。特別講演として Dr. Zihai Li (内藤記念財団招聘) 「Integrating UPR, inflammation and cancer immunity」と、昨年につき臨床研の田中啓二先生「オートファジーの破綻によるミトコンドリアストレスと肝癌・神経変性疾患」のお二人を、またランチョンセミナーでは京都大学の秋吉一成先生「分子シャペロンインスパイアード材料の開発と医療応用」と岡山大学の公文裕巳先生「ナノバイオ標的医療の展開とストレス応答」のお二人をお招きし、さらに二つの魅力的なシンポジウム「オルガネラストレスとエピジェネティクス」および「ストレスと免疫・癌・炎症」を企画いたしました。また新企画の *short talks: bridges to clinics* は抄録の中から臨床研究を5演題程選出いたします。本大会の照準が時代の要請に少しでも合えば幸いです。

会員諸氏の皆様のご参加はもちろんのこと、多くの若い研究者の参加を期待しております。若手研究奨励賞も昨年までの2名から5名に増やしましたので、是非チャンスを掴んでいただきたいと思っております。

それでは、皆様と岡山でお会いできることを楽しみにしております。

平成26年8月吉日

第9回臨床ストレス応答学会大会長

岡山大学医歯薬学総合研究科教授

鵜殿 平一郎

*The Biomedical Society for Stress Response*

会期：2014年11月1日（土）、2日（日）

会場：岡山大学鹿田キャンパス内マスカットキューブ（岡山市北区鹿田町2-5-1）

大会長：鵜殿平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・教授）

39歳以下の若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を選考いたします。詳細は演題申込方法をご覧ください。  
また、下記の特別講演2題、シンポジウム2テーマ、ランチョンセミナーを予定しています。

**11月1日(土曜)**

**特別講演 I**

**Dr. Zihai Li (Medical University of South Carolina, USA)**

**「Integrating UPR, inflammation and cancer immunity」**

**シンポジウム I**

**「オルガネラストレスとエピジェネティクス」**

岩田 淳（東京大学）

成田 年（星薬科大学）、

一條 秀憲（東京大学）

古橋 真人（札幌医科大学）

岡本 浩二（大阪大学）

**SONY 共催ランチョンセミナー**

秋吉 一成（京都大学）

**「分子シャペロンインスパイアード材料の開発と医療応用」**

**11月2日（日曜）**

**特別講演 II**

田中 啓二（東京都医学総合研究所）

**「オートファジーの破綻によるミトコンドリアストレスと肝癌・神経変性疾患」**

**シンポジウム II（公開）**

**「ストレスと免疫・癌・炎症」**

西堀 正洋（岡山大学）

鳥越 俊彦（札幌医科大学）

三宅 健介（東京大学）

村田 茂穂（東京大学）

鵜殿 平一郎（岡山大学）

杏林製薬共催ランチョンセミナー

公文 裕巳（岡山大学）

「ナノバイオ標的医療の展開とストレス応答」

*Short talks: Bridges to Clinics*

演者未定

大会参加費： 一般 5000円、学生 2000円

事前参加申込方法：

参加登録は大会ホームページから登録してください。

事前参加申込締切：2014年10月20日

演題申込方法：

本学会の一般演題発表者としてのお申込みは、一人一題に限られます。ただし、他の演題の共著者になることは差し支えありません。また、発表者は本学会員に限ります。申込みには事前参加登録及び参加費の振込みが必要です。

演題申し込み要領は下記大会ホームページをご覧ください。

<http://web.sapmed.ac.jp/bssr/>

**演題申込締切：2014年9月5日 正午**

若手研究奨励賞について：

臨床ストレス応答学会では、若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を設けます。応募資格・応募方法・選考方法・授賞式に関する詳細は下記の通りです。

●応募資格：第9回臨床ストレス応答学会大会当日（2014年11月1日）において、39歳以下の若手研究者。

●応募方法：演題応募時、抄録ファイルに「若手研究奨励賞に応募する」と記載すること。

●選考方法：若手奨励賞への応募演題は大会1日目（11月1日）に口演およびポスター形式でご発表いただきます。抄録と発表内容を4名の選考委員が審査し、5名程度の受賞者を選出します。

●授賞式 大会1日目（11月1日）の懇親会において、大会長より賞状並びに副賞（賞金）が授与されます。

**大会事務局：**

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍制御学講座免疫学分野内  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1  
Tel : 086-235-7192, Fax: 086-235-7193  
E-mail: okayama.meneki@gmail.com

**大会実行委員：**

委員長： 鵜殿平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）

組織委員： 青江知彦（千葉大学医学部）  
伊藤英晃（秋田大学工学資源学部）  
樋口京一（信州大学医学部）  
公文裕己（岡山大学大学院医学系研究科）  
藤原俊義（岡山大学大学院医学系研究科）  
豊岡伸一（岡山大学大学院医学系研究科）

プログラム委員： 中井 彰（山口大学大学院医学系研究科）  
足立弘明（産業医科大学医学部）  
鳥越俊彦（札幌医科大学医学部）  
水島 徹（慶應大学薬学部）  
西堀正洋（岡山大学大学院医学系研究科）  
那須保友（岡山大学病院新医療研究開発センター）

庶務委員： 山崎千尋（岡山大学大学院医学系研究科）  
一柳朋子（岡山大学大学院医学系研究科）  
榮川伸吾（岡山大学大学院医学系研究科）

## 事務局からの連絡

### 入会手続き

学会ホームページから「入会申込書」をコピーし、必要事項をご記入の上、BSSR 事務局まで FAX(011-643-2310)または電子メール(BSSR@sapmed.ac.jp)にてお送り下さい。

**年会費:** 一般会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、企業賛助会員 50,000 円  
以下の郵便口座へお振込ください。

**加入者名 :** 臨床ストレス応答学会

**口座番号 :** 02730-3-64452

### 大会ポスターについて

第9回臨床ストレス応答学会大会のポスターを事務局に用意しております。できるだけ多くの基礎・臨床研究者に参加していただくため、ポスターを配布して宣伝していただきますようお願い申し上げます。事務局まで必要枚数をお知らせ下さい。

\*\*\*\*\*

### BSSR 事務局

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座内 鳥越俊彦

TEL: 011-611-2111 (内線 2691), FAX: 011-643-2310

E-mail: **BSSR@sapmed.ac.jp**

ホームページ : <http://web.sapmed.ac.jp/bssr/index.html>